
2010年度第1四半期決算説明資料

2010年8月13日

NKSJホールディングス株式会社

■ 2010年度第1四半期決算のポイント	2
■ NKSJ連結決算概要	3
■ 主要損保2社の単体決算概要	4
■ 正味収入保険料	5
■ 正味損害率	6
■ 正味事業費率	7
■ 金融保証保険	8
■ 資産運用損益	9
■ 運用資産の状況	10
■ 国内生命保険事業	11
■ 海外事業	12
■ 純資産の状況	13
■ 2010年度通期業績予想	14

2010年度第1四半期決算のポイント

事業の内訳		概況
国内損保事業	損保ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> ・正味収入保険料は、自動車保険以外が増収し全体で0.1%の増加。保険引受利益は、金融保証保険において過年度に支払った保険金の一部で回収が見込まれることなどにより黒字を確保。 ・資産運用粗利益は、金融派生商品収益の増加などにより、前年同期比で25億円の増加。政策株式の売却額は4億円。
	日本興亜損保	<ul style="list-style-type: none"> ・正味収入保険料は、前年同期比1.1%の減少（減収幅は縮小）。保険金、事業費も減少したため、収支残はほぼ前年同期並みとなり、保険引受利益は増加。 ・資産運用粗利益は、前年度末より株価水準は低下したが有価証券評価損への影響は軽微であり、前年同期比で8億円の減少。政策株式の売却額は39億円。
国内生保事業	ひまわり生命	<ul style="list-style-type: none"> ・EV寄与度が高い収入保障保険と医療保険の販売が堅調。 ・新契約の好調持続により事業費が増加しているが、赤字幅は前年同期比で改善。
	日本興亜生命	<ul style="list-style-type: none"> ・新収入保障保険の販売が堅調であり、新契約高の増加に貢献。 ・当期純利益は保険金の増加を主因に減益となったが、黒字を確保。

(単位:億円)

	2010年度1Q
経常収益	6,634
(正味収入保険料)	5,049
(生命保険料)	480
経常利益	233
当期純利益	134
1株当たり当期純利益	8.08円

(単位:億円)

	経常利益	当期純利益
NKSJ HD 単体	△7	△7
+		
損保ジャパン連結	148	94
+		
日本興亜損保連結	114	76
+		
パーチェス修正・連結調整等	△21	△28
=		
NKSJ HD 連結	233	134

<パーチェス修正>

- ・NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。
(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違)
- ・従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がありこれをパーチェス修正と表現している(経常利益△21億円、当期純利益△11億円)。

<連結調整等>

- ・経営統合にともなう「負ののれん」は1億円。全額を特別利益に計上。
- ・損保ジャパンと日本興亜損保の新株予約権をNKSJホールディングスに引き継いだことにより、損保ジャパンと日本興亜損保の単体ベースで新株予約権消滅益(SJ13億円、NK5億円)が発生している。
HD連結ではこれを取り消している(当期純利益△18億円)。

主要損保2社の単体決算概要

(単位: 億円)

	損保ジャパン		
	2009年度1Q	2010年度1Q	増減
正味収入保険料	3,307	3,311	+3 (+0.1%)
(除く自賠責)	2,933	2,921	△11 (△0.4%)
正味損害率	67.6%	64.3%	△3.4pt
(除く金融保証・自賠責)	56.5%	58.4%	+1.9pt
正味事業費率	33.8%	32.9%	△0.9pt
(除く自賠責)	34.1%	33.5%	△0.6pt
コンバインドレシオ	101.4%	97.2%	△4.2pt
(除く金融保証・自賠責)	90.7%	92.0%	+1.3pt
保険引受利益	△123	14	+138
資産運用粗利益	130	156	+25
経常利益	△31	153	+184
四半期純利益	△14	102	+116

	日本興亜損保		
	2009年度1Q	2010年度1Q	増減
	1,620	1,602	△18 (△1.1%)
	1,452	1,427	△25 (△1.7%)
	65.5%	65.5%	+0.0pt
	60.1%	60.3%	+0.2pt
	35.2%	35.1%	△0.1pt
	35.8%	35.8%	△0.0pt
	100.7%	100.7%	△0.0pt
	95.9%	96.1%	+0.2pt
	14	27	+13
	98	89	△8
	112	111	△1
	74	75	+0

【参考】修正利益

四半期純利益	△14	102	+116
+) 異常危険準備備金繰入額(税引後)	45	45	+0
+) 価格変動準備金繰入額(税引後)	4	9	+5
-) 有価証券売却損益・評価損(税引後)	0	△21	△22
修正利益	35	179	144

	74	75	+0
	11	△9	△21
	4	4	+0
	8	7	△1
	81	63	△18

※除く金融保証は損保ジャパンのみ

正味収入保険料(主要損保2社単体)

(単位:億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保		
	金額	増減	増収率	金額	増減	増収率
火災	345	+10	+3.2%	200	△11	△5.5%
海上	62	+3	+5.3%	33	+1	+4.4%
傷害	355	+4	+1.3%	145	△0	△0.6%
自動車	1,641	△30	△1.8%	810	△14	△1.7%
自賠責	389	+15	+4.2%	175	+7	+4.3%
その他	516	+0	+0.0%	236	△0	△0.0%
(うち賠償責任)	368	+12	+3.6%	127	+3	+2.7%
合計	3,311	+3	+0.1%	1,602	△18	△1.1%
合計(除く自賠責)	2,921	△11	△0.4%	1,427	△25	△1.7%

- <火災> SJ: 受再契約が増収
NK: 出再保険料の増加等
- <海上> 物流の増加により増収
- <傷害> SJ: 第三分野商品が増収
- <自動車> SJ: 前年度減収した分割払分の影響が残ったことにより減収
NK: 台数は増加するも料率改定の一巡や車両の小型化による単価下落により減収
- <自賠責> 新車販売台数の増加により契約件数が増加
- <その他> 引き続き賠償責任保険が好調

正味損害率(主要損保2社単体)

損害率(リトン/ペイドベース)

(単位:億円)

	損保ジャパン			
	正味支払保険金		正味損害率	
		増減		増減
火災	145	+7	43.7%	+0.9pt
海上	40	+7	69.1%	+9.1pt
傷害	168	+3	52.0%	+0.7pt
自動車	938	△19	67.1%	+2.5pt
自賠責	387	△0	107.4%	△4.6pt
その他	212	△151	44.4%	△29.0pt
┆ (うち賠償責任)	129	+8	37.9%	+1.1pt
合計	1,891	△154	64.3%	△3.4pt
合計(除く自賠責)	1,504	△153	58.5%	△3.4pt
合計(除く金融保証・自賠責)	1,502	+3	58.4%	+1.9pt

	日本興亜損保			
	正味支払保険金		正味損害率	
		増減		増減
	91	△16	49.8%	△5.1pt
	15	△3	49.4%	△11.7pt
	74	△1	56.7%	△0.9pt
	501	+21	67.9%	+3.9pt
	178	+0	108.0%	△3.9pt
	99	△13	47.1%	△5.5pt
	48	△7	40.9%	△6.8pt
	961	△12	65.5%	+0.0pt
	783	△12	60.3%	+0.2pt

- ◆SJ: 金融保証保険で前年同期の大口支払の影響がなくなったため、「その他」の損害率が大幅に低下。
- ◆NK: 支払件数の増加により自動車保険の支払保険金が増加。それ以外の種目の保険金はおおむね減少。
- ◆当年度発生自然災害にかかる支払保険金は、損保ジャパン0億円、日本興亜損保3億円。

正味事業費率(主要損保2社単体)

(単位:億円)

正味事業費

	損保ジャパン			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
諸手数料及び集金費	555	△4	16.8%	△0.1pt
保険引受に係る営業費及び一般管理費	534	△23	16.1%	△0.8pt
合計	1,089	△28	32.9%	△0.9pt

	日本興亜損保			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
	271	△7	17.0%	△0.2pt
	291	△0	18.2%	+0.2pt
	563	△7	35.1%	△0.1pt

(単位:億円)

社費

	損保ジャパン			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
人件費	425	+32	12.9%	+1.0pt
物件費	325	△18	9.8%	△0.7pt
税金等	52	+0	1.6%	+0.0pt
合計	803	+15	24.3%	+0.5pt

	日本興亜損保			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
	219	+6	13.7%	+0.6pt
	155	△5	9.7%	△0.2pt
	20	+0	1.3%	+0.1pt
	395	+1	24.7%	+0.4pt

- ◆SJ: 人件費は、損保ジャパン調査サービス社吸収合併により、保険金(付帯費用)から人件費への振替が発生したため増加。
物件費は、システム開発費用の処理方式の変更などにより、システムコストが減少。
- ◆NK: 人材派遣子会社からの派遣社員を本体で直接雇用したため、物件費(人材派遣料)から人件費(給与等)への振替が発生している。

2010年度第1四半期損益 (金融保証保険全体)

+64億円 (すべてABS-CDO保証に係わる利益認識)
※過年度に支払った保険金の一部で回収が見込まれること等によるもの

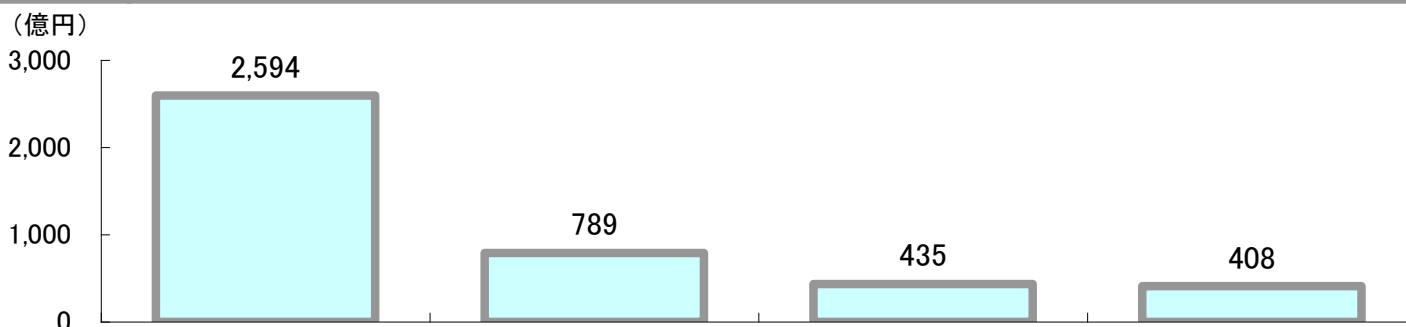
(単位:億円)

金融保証全体(損益)	2007年度	2008年度	2009年度	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期
支払保険金(注1)	1	△ 379	△ 638	△ 158	△ 2
支払備金積増/取崩(注2)	△ 300	△ 1,099	557	141	66
損益	△ 299	△ 1,479	△ 80	△ 17	64

(注1)合意解約を含む (注2)為替ヘッジ損益を含む

ABS-CDO保証の ネットエクスポージャー

支払備金控除後のABS-CDO保証残高は408億円
(2010年3月末比27億円の減少)



(単位:億円)

ABS-CDO保証(残高)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年6月末
保証残高	2,894	2,180	1,231	1,174
支払備金引当済	△ 300	△ 1,390	△ 795	△ 766
支払備金控除後保証残高	2,594	789	435	408

資産運用損益(主要損保2社単体)

(単位:億円)

	損保ジャパン		
	2009年度1Q	2010年度1Q	増減
利息及び配当金収入	274	239	△35
積立保険料等運用益振替	△107	△99	+7
ネット利配収入	167	140	△27
有価証券売却損益	9	7	△2
国内株式売却損益	6	1	△5
有価証券評価損	△8	△41	△32
国内株式評価損	△8	△12	△4
金融派生商品損益	△2	88	+91
その他損益	△35	△39	△3
資産運用粗利益	130	156	+25

	日本興亜損保		
	2009年度1Q	2010年度1Q	増減
	143	134	△9
	△58	△52	+6
	84	81	△2
	14	15	+0
	10	16	+5
	△1	△4	△2
	△0	△1	△0
	12	7	△4
	△10	△10	+0
	98	89	△8

- ◆SJ: 為替が円高に推移したことを主因に、利息・配当金収入が減少するとともに外国証券等で評価損を計上したが、為替ヘッジによる金融派生商品収益を計上し、資産運用粗利益は増加した。政策株式の売却額は4億円(時価ベース)。
- ◆NK: 株安に推移したものの、有価証券評価損への影響は軽微で、資産運用粗利益は前年同期比で微減となった。政策株式の売却額は39億円(時価ベース)。

運用資産の状況(主要損保2社単体) 2010年6月末現在

(単位: 億円)

損保ジャパン		
積立勘定 12,534 (28.9%)	円貨債券・貸付金等	12,534 (28.9%)
一般勘定 30,826 (71.1%)	円貨債券	6,048 (14.0%)
	外貨債券	2,138 (4.9%)
	オルタナティブ・外株等	5,147 (11.9%)
	貸付金	2,445 (5.6%)
	国内株式	11,309 (26.1%)
	その他	3,735 (8.6%)
運用資産残高		43,360 (100%)

日本興亜損保		
積立勘定 7,559 (33.1%)	円貨債券・貸付金等	7,559 (33.1%)
一般勘定 15,299 (66.9%)	円貨債券	2,389 (10.5%)
	外貨債券	2,245 (9.8%)
	オルタナティブ・外株等	817 (3.6%)
	貸付金	683 (3.0%)
	国内株式	6,109 (26.7%)
	その他	3,053 (13.4%)
運用資産残高		22,858 (100%)

	損保ジャパン	日本興亜損保
その他有価証券含み益(税引前)	4,299億円	2,089億円
┆ (うち株式)	4,172億円	2,057億円

感応度	変動要素	損保ジャパン	日本興亜損保
金利	金利50bpの上昇による資産の増減	△538億円	△329億円
	金利50bpの上昇によるネット実質純資産の増減	+263億円	+71億円
為替	ドル円・ユーロ円10%の下落による外貨建資産の増減	ドル: △335億円、ユーロ: △112億円	ドル: △78億円、ユーロ: △28億円
株価	TOPIX10%の下落による国内株式の増減	△998億円	△506億円

(単位: 億円)

	損保ジャパンひまわり生命		
	2009年度1Q	2010年度1Q	前年同期比
新契約高	4,681	5,356	+14.4%
新契約年換算保険料	57	54	△5.1%

	日本興亜生命		
	2009年度1Q	2010年度1Q	前年同期比
	1,530	1,575	+2.9%
	21	22	+7.7%

保険料等収入	552	559	+1.2%
経常利益	△11	3	-
四半期純利益	△17	△3	-

	218	228	+4.2%
	7	4	△44.6%
	2	0	△91.4%

	2009年度末	2010年度1Q末	前年度末比
保有契約高	123,230	125,922	+2.2%
保有契約年換算保険料	1,961	1,957	△0.2%
総資産	11,221	11,303	+0.7%

	2009年度末	2010年度1Q末	前年度末比
	53,069	53,593	+1.0%
	697	703	+0.9%
	4,689	4,813	+2.6%

◆SJHL: EV寄与度が高い収入保障保険、医療保険の販売が堅調。

◆NKL: 新収入保障保険の販売が堅調で新契約高が増加。

<参考>

	損保ジャパンひまわり生命
	MCEV
2009年度末EV	2,907
(純資産価値)	(750)
(保有契約価値)	(2,157)

	日本興亜生命
	TEV
	960
	(290)
	(670)

(単位:億円)

	連結子会社	連結調整後当期純利益		
		2009年度1Q	2010年度1Q	増減
損保ジャパン	SJアメリカ	3	3	+0
	SJヨーロッパ	△1	2	+3
	SJシンガポール	2	1	△0
	SJ中国	△0	△0	+0
	SJ香港	-	△0	-
	南米安田	△0	△1	△0
日本興亜損保	NKヨーロッパ	△0	0	+1
	NKアジア	△0	0	+0
	NK中国	-	△0	-

◆各連結子会社の業績は、事業計画どおりに推移。

◆シンガポールのテネット社の買収完了、トルコのフィバ社の株式取得の合意など、M&Aを積極的に展開。

純資産の状況

主要損保2社単体の純資産

(単位: 億円)

	損保ジャパン		
	2009年度末	2010年度1Q末	増減
純資産	8,201	7,018	△1,183
(うち、その他有価証券評価差額)	3,863	2,787	△1,075

	日本興亜損保		
	2009年度末	2010年度1Q末	増減
純資産	4,336	3,989	△346
(うち、その他有価証券評価差額)	1,758	1,382	△375

(参考)修正連結純資産(2010年度1Q末・暫定値)

	NKSJ連結	
	金額(億円)	1株当たり金額(円)
①連結純資産(※1) (うち、その他有価証券評価差額)	10,926 2,479	658.04 149.31
②連結純資産(除く生保子会社純資産)	10,091	607.76
③異常危険準備金(税引後)(※2)	4,057	244.36
④価格変動準備金(税引後)(※2)	123	7.44
⑤生保子会社EV(※3)	3,868	232.95
⑥合計(修正連結純資産)(②+③+④+⑤)	18,140	1,092.52

発行済み株式数: 1,660,450,627株
(自己株式を除く)

※1: 新株予約権と少数株主持分を控除

※2: 税引後の計算において、損保ジャパン、日本興亜損保ともにそれぞれの単体の実効税率を用いている

※3: 生保子会社EVは年1回の開示であるため、2010年3月末の数値を使用

2010年度通期業績予想(NKSJ連結)

期初予想から変更なし

(単位:億円)

	2010年度(予想)
経常収益	26,420
（正味収入保険料）	19,620
（生命保険料）	1,820
経常利益	480
当期純利益	250
1株当たり配当金	20円

	経常利益	当期純利益
損保ジャパン連結	340	170
+		
日本興亜損保連結	250	150
+		
パーチェス修正・連結調整等	△110	△70
=		
NKSJ連結	480	250

<パーチェス修正>

- ・NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。
（日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違）
- ・従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がありこれをパーチェス修正と表現している。

<連結調整等>

- ・経営統合にともなう「負ののれん」は1億円。全額を特別利益に計上。

2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想から変更なし

業績予想の前提等

	損保ジャパン	日本興亜損保
自然災害	250億円(過去の実績に基づく見込み額)	130億円(過去の実績に基づく見込み額)
異常危険準備金	271億円の繰り入れ(ネット)	85億円の繰り入れ(ネット)
資産運用の前提	<株価> 日経平均:11,090円 <金利> 10年国債:1.4% <為替> ドル円:93円、ユーロ円:125円	
利息及び配当金収入	グロス:780億円 ネット:400億円	グロス:420億円 ネット:217億円
有価証券キャピタル損益 (売却損益および評価損)	250億円	119億円
価格変動準備金	59億円の繰り入れ(ネット)	30億円の繰り入れ(ネット)
金融保証保険	50億円の損失	

2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想から変更なし

正味収入保険料

(単位: 億円)

	損保ジャパン			
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	増収率
火災	1,441	1,420	△21	△1.5%
海上	237	253	+15	+6.6%
傷害	1,252	1,306	+53	+4.3%
自動車	6,402	6,436	+33	+0.5%
自賠責	1,647	1,635	△12	△0.7%
その他	1,608	1,630	+21	+1.4%
(うち賠償責任)	997	1,030	+32	+3.3%
合計	12,588	12,680	+91	+0.7%
合計(除く自賠責)	10,941	11,045	+103	+0.9%

	日本興亜損保			
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	増収率
	965	968	+2	+0.3%
	134	143	+8	+6.0%
	506	508	+2	+0.5%
	3,187	3,162	△24	△0.8%
	741	748	+6	+0.8%
	797	819	+21	+2.7%
	402	415	+13	+3.3%
合計	6,333	6,350	+16	+0.3%
合計(除く自賠責)	5,591	5,601	+10	+0.2%

2010年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想から変更なし

正味支払保険金・損害率

(単位:億円)

	損保ジャパン					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減
火災	612	699	+86	44.2%	50.9%	+6.6pt
海上	132	130	△2	60.2%	55.7%	△4.5pt
傷害	681	686	+4	59.5%	57.4%	△2.1pt
自動車	4,058	3,888	△170	70.6%	70.6%	+0.0pt
自賠償	1,543	1,509	△34	101.3%	99.7%	△1.5pt
その他	1,521	1,398	△123	98.8%	89.8%	△8.9pt
(うち 賠償責任)	526	544	+18	56.8%	56.8%	+0.0pt
合計	8,550	8,310	△240	73.9%	72.9%	△0.9pt
合計 (除く自賠償)	7,006	6,801	△205	69.7%	69.0%	△0.7pt
合計 (除く金融保証・ 自賠償)	6,368	6,254	△114	63.9%	64.0%	+0.1pt

	日本興亜損保					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減	2009年度 (実績)	2010年度 (予想)	増減
	426	443	+16	48.1%	50.3%	+2.2pt
	80	66	△13	61.0%	47.5%	△13.5pt
	308	286	△22	66.4%	61.2%	△5.2pt
	2,069	1,970	△98	71.0%	68.7%	△2.3pt
	707	716	+8	102.9%	103.0%	+0.1pt
	446	438	△7	61.1%	58.4%	△2.7pt
	212	204	△8	57.1%	53.2%	△3.9pt
	4,038	3,922	△116	69.4%	67.5%	△1.9pt
	3,330	3,205	△124	65.0%	62.8%	△2.2pt

将来予想に関する記述について

本書類には、NKSJホールディングス株式会社(以下「当社」)にかかる「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本書類における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しています。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。当社は、本書類の日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、今後の日本国内における公表および1934年米国証券取引法に基づく米国証券取引委員会への届出および提出において当社の行う開示をご参照ください。なお、上記当社のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本の経済情勢悪化による影響
- (2) 損害保険事業、生命保険事業その他NKSJグループが行う事業のリスク
- (3) 法律、規制、制度等の変更による影響
- (4) 自然災害リスク
- (5) 予測不能な損害の発生による影響
- (6) 再保険に関するリスク
- (7) 海外事業のリスク
- (8) 株価の下落による影響
- (9) 為替の変動による影響
- (10) 金利の変動による影響
- (11) 流動性リスク
- (12) 投融資先の信用力低下による影響
- (13) 格付の引き下げによる影響
- (14) 訴訟に関するリスク
- (15) 退職給付債務に関するリスク
- (16) 個人情報等の漏洩等の発生による影響
- (17) 非常災害が業務の遂行に与える影響
- (18) 経営統合による影響
- (19) その他のリスク

IR関係連絡先

NKSJ ホールディングス株式会社 経営企画部

電話番号	: 03-3349-3913
Fax	: 03-3349-6545
E-Mail	: shinichi.hara@nksj-hd.co.jp (原) takashi.izuhara@nksj-hd.co.jp (伊豆原) naoko5.takahashi@nksj-hd.co.jp (高橋)
Web	: http://www.nksj-hd.com/